

データ保護サービス

APEX Multi-Cloud Data Services

マルチクラウド向けのデータ保護

- アプリケーションを1つの場所で保護
- 複数のパブリック クラウドにデータを復元
- データをクラウドから独立させることでベンダーによるロックインを回避
- Microsoft AzureおよびOracle Cloudでのエグレス料金不要
- パブリック クラウドへの広帯域幅、低レイテンシーの直接接続
- 一貫性のある1つのデータ保護戦略で管理の複雑さを解消
- マネージド サービスとして購入および提供

マルチクラウド向けのCyber Recovery

- クラウドまたはオンプレミスにある重要なデータを保護
- 運用上のエアギャップによって企業ネットワークから切り離された、物理的にも論理的にも分離されたヴォールト環境
- セキュリティ保護されたオフプレミスのヴォールトに不変データコピーを保管することでデータの整合性を維持
- 複数のパブリック クラウドにデータをシームレスに復元

データ保護の課題

組織がデータをクラウドに移動したり、複数のクラウドに再配分したりして拡張するにつれ、そのデータの保護が非常に重要になります。今日のデータ主導型の世界では、データロスは許容できないことであり、情報への迅速なアクセスが意思決定の中核をなしています。効果的なデータ保護は、あらゆるビジネスが成功する上で欠かすことのできない重要な要素です。

しかし、パブリッククラウドプロバイダーはデータ保護の責任をユーザーに委ねているため、データ保護には独特の課題が伴います。1つまたは複数のパブリッククラウドにアプリケーションを導入することが多いユーザーは、使用している全クラウドで複数のデータ保護ソリューションを管理する必要があります。データ保護に関して、クラウドでのアプローチが既存のオンプレミスでの戦略と一致しない場合、データ保護ソリューションに大きな混乱が生じます。

データ保護ソリューションが急増していることによって、共通の保護サービスを使用した真のマルチクラウドデータ保護ソリューションを実現する機会が生まれます。それを実現できない場合、複数のソリューションによってリソースコストが増加し、バックアッププロセスが信頼性の低い非効率的なものになる可能性があります。あるクラウドから別のクラウドにデータを移行する場合には、高額なエグレス料金が必要になるでしょう。

さらに、ランサムウェアなどの巧妙なサイバー攻撃が、企業の最も重要な資産であるデータを盗み出したり、侵害したりする恐れもあります。重要なデータを保護し、データの整合性を検証しながらリカバリーを行うことは、攻撃を受けた後に通常業務を再開するための鍵となります。より多くのワークロードとデータをクラウドに移動する状況下では、重要なデータがどこで生み出され、どの場所にリカバリーされるとしても、オンプレミスとパブリッククラウドのすべての場所を保護するサイバー保護ソリューションに投資することが不可欠です。

ソリューション概要

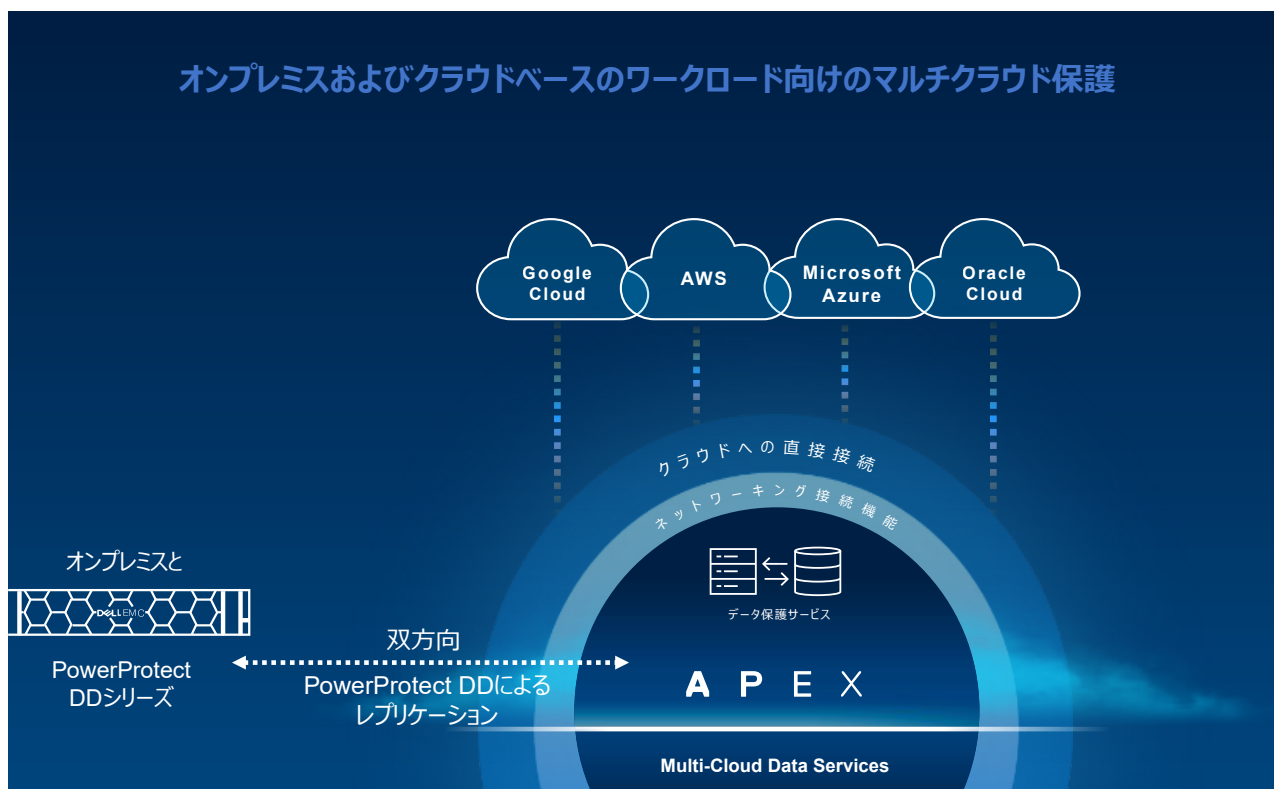
マルチクラウドデータ保護ソリューションを実装することで、データをクラウドから独立させてクラウドベンダーによるロックインを回避できます。また、高額なエグレス料金、移行リスク、データ移動に必要な時間に煩わされることもなくなります。Dell Technologies APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護は、ユーザーが持つデータ中心のアプローチをサポートし、データとクラウドに関するユーザー固有の管理戦略を、複数のパブリッククラウドプロバイダーに分散できるようにします。APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護は、オンプレミスおよびAWS (Amazon Web Services)、Microsoft Azure、Google Cloud、Oracle Cloudで生成されるデータのバックアップ/リカバリーに使用する単一の場所を提供するマネージドサービスです。

サービスの場所からパブリック クラウド プロバイダーに、低レイテンシーで高スループットの接続を確立することで、マルチクラウド機能が利用できるようになります。このアーキテクチャにより、クラウド内のバックアップ元の場所と、APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスとの間に、動的な接続が可能になります。このサービスでは、リソースの使用率を低下させたり管理オーバーヘッドを生じさせたりすることなく、全体的なIT戦略の一環としてスループットとバックアップ ウィンドウをエンドツーエンドで柔軟に調整し、データ保護ポリシーを満たすことができます。このソリューションはコスト効率に優れており、Microsoft Azureからのエグレス料金は不要です。PowerProtect DDの極めて効率的な重複排除機能を活用し、厳格なSLAを満たせるコスト パフォーマンスに優れたソリューションをお客様に提供します。

APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスは、Cyber Recoveryソリューションのリポジトリにすることができます。セキュリティ保護されたマルチクラウド対応のインフラストラクチャ上に構築された論理エア ギャップ ヴォールトでデータを安全に保管し、重要なデータをサイバー攻撃から保護します。データのリカバリーが必要な場合は、データをヴォールトからAWS、Microsoft Azure、Google Cloud、Oracle Cloud、またはオンプレミス環境に復元できます。CyberSenseのインテリジェントな分析がこのCyber Recoveryサービスと完全に統合されており、オンプレミスのCyber Recoveryヴォールト内で保護されているデータの整合性を検証することで、さらなる保証を得ることができます。

APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービス – 用途と応用例

APEX Multi-Cloud Data Servicesのデータ保護サービスは、オンプレミスとパブリック クラウドの全体に渡ってデータとアプリケーションを保護するための単一の保存先を提供し、組織がパブリック クラウドに依存せずにデータを管理できるようにするマネージド サービスです。APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスでは、バックアップ、アーカイブ、長期保存に使用する単一の保存先を利用して、組織が選択したクラウド プロバイダーで生成されたデータを保護する機能を提供します。すべてのクラウドで重複排除処理されたデータの1つのコピーが使用されます。また、オンプレミスのアプリケーションを保護し、ネットワーキングと運用をシンプルにします。組織は、パブリック クラウドごとにデータを個別に管理する必要がなくなり、一貫性のあるデータ保護/保存戦略を1つだけ持つことが可能になりました。



バックアップとレプリケーション

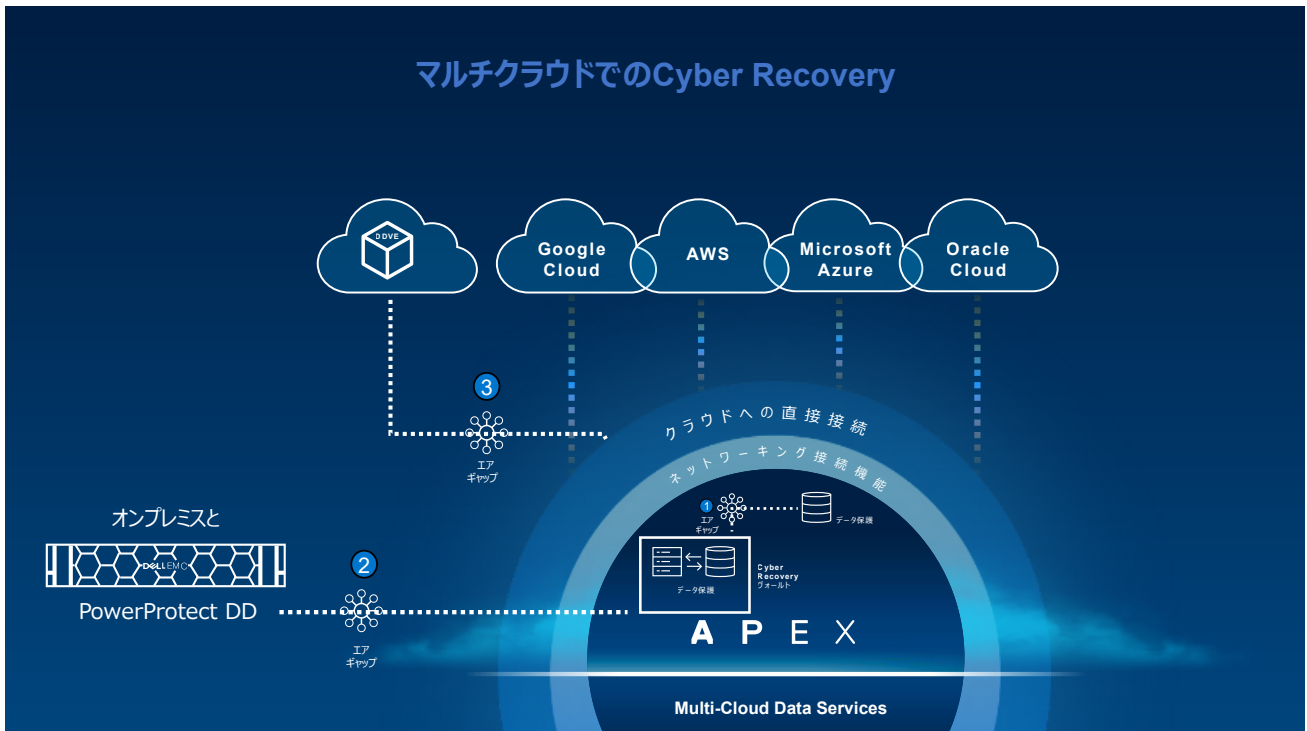
APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスは、オンプレミスのPowerProtect DDアプライアンスからマルチクラウドサービスの場所へのレプリケートを行う、使い慣れた信頼性の高いアレイ ベースのレプリケーションを活用することで、オンプレミスのデータとクラウドに隣接する場所にあるアプリケーションを保護する機能を提供します。基本的なバックアップ オペレーションでバックアップ先にオンプレミスの場所を使用すると、オンプレミスでの作業負荷が軽減されます。また、APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスは、1つ以上のパブリック クラウドで実行しているPowerProtect DD Virtual Edition (DDVE) ソフトウェアのレプリケーション先にもできます。

Cloud Disaster Recovery

APEX Multi-Cloud Data Serviceによるデータ保護サービスを使用すると、組織が選択したパブリック クラウド プロバイダーに任意の時点のデータを復元できます。データ障害やデータ ロスが発生した場合、お客様はマルチクラウド接続によって任意のパブリック クラウドにオンデマンドでデータをスピンアップできます。クラウド ベンダーにロックインされることはありません。

長期保存およびアーカイブ

APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスでは、バックアップ管理者は規制プロセスのガバナンスとコンプライアンスへの対応として、オンプレミスやクラウドで生成されたデータをリモート サイトに保存、保護できます。これにより、オンプレミス ストレージの活用不足の課題を解消することができます。また、品質保証チームおよびテスト/開発チームは、エンドポイントとクラウドの保存場所の間でワークロードを移動させることで、本番コピーが機能することを保証し、ソフトウェア エラーを減らし、俊敏性の高い実践方法を生み出すというメリットを得ることができます。



マルチクラウドでのCyber Recoveryのオプション

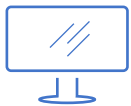
1. APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護を導入して既存のデータを保護
2. お客様のオンプレミスで生成されるデータを保護
3. パブリック クラウドで生成されるデータを保護

Cyber Recovery

セキュリティ保護されたヴォールト環境ではAPEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスが使用され、プライマリーのPowerProtect DDまたはPowerProtect DD Virtual Edition (DDVE) のデータ ソースとして機能します。専用のコンピューティングリソースにより、Cyber Recovery管理ツールと任意のCyberSense分析ツールが実行されます。物理的なセキュリティとヴォールトの分離機能が組み合わされているこのソリューションでは、運用上のエアギャップが使用されます。このエアギャップによって、プライマリーからデータを複製するのに十分な時間のみ、ヴォールトへのアクセスが可能になります。その時間以外は、ヴォールトは本番稼働環境から切り離されています。選択したデータが、セキュリティ保護され、分離されたヴォールト内に問題なくコピーされた後、一定期間は、データの修正、削除、変更はできません。機械学習とフルコンテンツ インデックス作成機能を備えたCyberSense分析により、各データ セットをヴォールトのセキュリティ内で分析することができます。

デル・テクノロジーズのデータ保護ソリューションがクラウドへの移行を支援

アプリケーションのクラウドへの移行が進む中で、パブリック クラウドにホストされているデータをシンプルかつ柔軟な方法でバックアップ/復元を行い、クラウド間でワークロードを移動できる機能は極めて価値が高いものであり、この機能によって、組織はワークロード実行場所を適切に選択できるようになります。APEX Multi-Cloud Data Servicesのデータ保護サービスは、オンプレミスおよび複数のパブリック クラウドにホストされているデータを、単一の場所で確実に、低コストで保護します。



[の詳細はこちら](#)
APEX Multi-Cloud Data
Services



デル・テクノロジーズのエキス
パートに問い合わせる



[他のリソースを表示](#)



[#DellTechAPEX](#) で
会話に参加